

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	観光企画事業				シート番号	008-004	
担当部署名	文化観光	局	観光	部	観光企画課、観光推進課	評価責任者(課長名)	丸澤・北口

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け	
			施策	4	歴史・文化資源を活かしたまちの賑わいの創出	有	
	2	事業開始年度	— 年度		終了(予定)年度	年度	
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)					
	4	関連計画					
5	事業実施の経緯	社会情勢の変化や個人旅行者、訪日外国人旅行者の増加などにより刻々と変わる観光需要を的確に把握・分析し、既存事業の見直しを進めるとともに、工場夜景の発信や大型クルーズ船の誘致、観光DMOとの連携など、観光需要やそれに伴う課題に対応する取組みを企画・立案し、事業化する。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューローなど				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	国内外の観光客				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	観光客を市内へ誘客し、周遊・宿泊してもらうことで、市内の賑わいの創出及び消費拡大を図る。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	○ビジター実態調査などを通じた観光動向の把握、分析 ○ヘリウムガス気球による古墳群遊覧の実証実験に向けた取組 ○観光客の滞在時間の延長や宿泊促進に向けた工場夜景ツアーの造成、全国工場夜景サミットを活用したPR ○飛鳥Ⅱの寄港イベントの実施をはじめ、大浜ふ頭や広域連携による大型クルーズ船のポートセールス ○観光DMOであるKIX泉州ツーリズムビューロー等との連携による情報発信、「泉州の食」のブランド化に向けた商品企画、開発等 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他				
10	直接実施以外の主な支出先	一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューロー など					

Ⅲ. 投入量

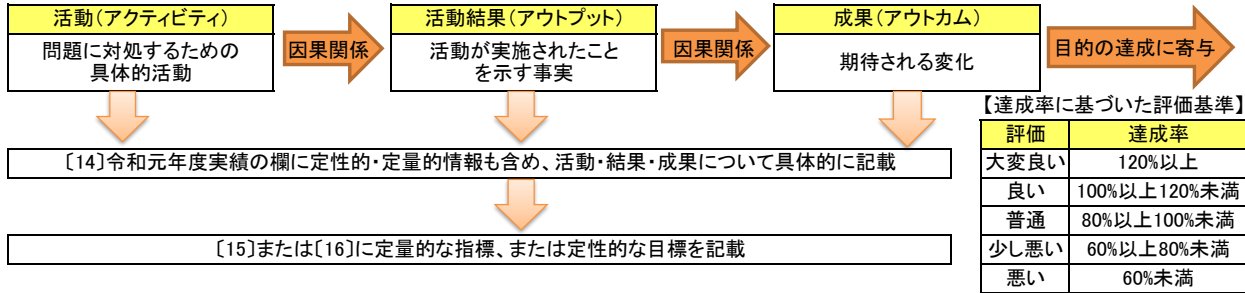
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
事業費 (a)	千円	6,169	5,362	44,204	40,545	40,908	36,439	79,451	
主な事業費内訳	委託料	千円	4,100	3,458	7,568	5,646	6,505	3,917	4,300
	負担金	千円	1,744	1,739	160	155	2,668	3,181	160
	泉州観光DMO負担金	千円	-	-	34,333	33,667	29,519	28,360	34,065
	大阪観光局負担金	千円	-	-	-	-	-	-	40,000
	国・府支出金	千円	-	-	16,063	16,063	11,415	11,415	14,463
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他( )	千円							
一般財源	千円	6,169	5,362	28,141	24,482	29,493	25,024	64,988	
12 人件費 (b)	千円	18,040	18,040	18,040	18,040	17,820	16,200	16,400	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	24,209	23,402	62,244	58,585	58,728	52,639	95,851	

# 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	観光企画事業	シート番号	008-004
-------	--------	-------	---------

## Ⅳ. 評価(測定・分析)》

### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	<p>宿泊者数調査のほか、大仙公園エリアにおいて多くの来訪者が訪れる仁徳天皇陵拝所前で、11月にアンケート調査を実施するなど、観光動向の基礎データの把握、分析を行った。 また、世界遺産・百舌鳥古墳群の価値や雄大さを体感いただくため、ヘリウムガス気球による古墳群遊覧の実証実験に向けた調査及び住民説明会を実施した。 工場夜景については、令和2年2月に全国工場夜景サミット in 堺・高石の開催を開催するとともに、工場夜景ツアーを民間事業者とともに商品造成するなど、観光客の滞在時間の延長や宿泊促進を図った。 さらに、新たな観光ネットワークの構築や遠方からの観光誘客などを目的として、船社へのポートセールスなど大型クルーズ船の誘致に取り組んだところ、4月には「飛鳥Ⅱ」が、大浜ふ頭に寄港し、乗船者に堺の観光を楽しんでいただいた。 堺市をはじめとする泉州9市4町の観光DMO法人「KIX泉州ツーリズムビューロー」では、各市町とも連携し、韓国、台湾などの東アジアを中心とした情報発信のほか、「泉州の食」のブランド化に向けて、11月にさかい利晶の社において、泉州13市町のご当地グルメを一堂に集めた「G13泉州ご当地グルメサミット」を開催するなど、国内外の観光誘客に向けた取り組みを行った。</p>						
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		観光ビジター数	万人	目標値	1,156	1,237	1,418	1,600
				実績値	1,056	1,048	1,180	
				達成率	91%	93%	83%	
	評価	普通	普通	普通				
	算出方法・設定根拠など		市内主要駅の乗降客数や対面アンケートから、観光ビジター数を推計					
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		目標値						
		実績値						
		達成率						
		評価						

### 事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	観光ビジター数	万人	1,056	1,048	1,180
	②	上記①にかかる年間経費	千円	23,402	58,585	52,639
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	22,161	55,902	44,624
備考(算出についての説明等)						
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
備考(算出についての説明等)						

### 業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)	
19	<p>百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録による誘客効果と、好機を活かしたプロモーション及び大仙公園エリアを中心とした受入環境整備の推進により、大仙公園エリアの観光関係施設で昨年度比で2~3倍程度増加した。 一方で、新型コロナウイルスの影響により、令和2年2月以降、インバウンドが大幅に減少したうえ、3月以降は感染拡大防止の観点から市関連施設を閉鎖したため、観光ビジター数の増加を阻害する要因となった。 また、大仙公園エリアの来訪者が増加する一方で、環濠エリア等のその他観光エリアはそれほど伸びていないことから、今後、市内周遊施策を強化していく必要がある。</p>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	観光企画事業	シート番号	008-004
-------	--------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 定住人口が減少していく社会において、まちの賑わいや地域経済を維持・向上させるためには、交流人口を増加させることが必要不可欠であり、引き続き観光の取組みは重要であると考えられるため。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、一時的に事業を休止することも想定される。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 県をまたぐ不要不急な誘客プロモーションの休止や、3密になるような集客イベントの中止等により、コストを縮減することは可能である。大型クルーズ船の誘致については、当面の間、事業を休止する。また、ビジター実態調査については、大阪観光局が有するビッグデータの活用等により、事業廃止も含め事業コストの縮減を図る。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 観光動向の調査・分析においては、これまで実施してきた対面でのアンケート調査手法を見直す必要がある。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他(                      )	<b>理由・説明</b> KIX泉州ツーリズムビューローや大阪観光局などとの広域連携によって、より効果的・効率的な情報発信をはじめ、マーケティング分析、観光誘客の取組を進めていく。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		<b>所見</b> 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、当面はインバウンドや国内の遠方からの誘客は難しいものの、国内外の観光客に共通して必要な環境整備やストーリー性のあるコンテンツの造成などを引き続き進めていくとともに、新型コロナの収束によるインバウンド等の回復に向けて、並行して情報発信や広域連携などにも取り組んでいく。		